

質疑応答の概要

番号	意見・情報等（概要）	意見・情報等に対する考え方 （説明会での回答要旨）
1	公園内を高校生等が自転車で行き来すると危険。構想に駐輪場の設置を明記してほしい。	小中高校生は自転車で来ることが多いと思われることから、駐輪場の整備について検討します。
2	主な施設の稼働率はどのくらいを想定しているのか。周辺の混雑具合や道路整備にも関係する。	公式大会の開催など現施設と同規模程度を想定しています。
3	公園整備に伴い、土地改良区が処理している排水量が増え、電力使用量に影響が出ることが考えられる。排水量の調査も周辺環境調査の項目に加えてほしい。	公園内の雨水排水は土地改良区の排水路に流さないよう排水計画を検討します。
4	建築にあたっては、街を見渡したときに不自然なものとならないよう十分に配慮してほしい。	景観は大事な視点であり、有識者等の意見も聞きながら、建築の設計段階で検討する予定です。

質疑応答の概要

番号	意見・情報等（概要）	意見・情報等に対する考え方 （説明会での回答要旨）
1	男性トイレにも育児に配慮した設備を整備するべきと思う。	設計段階で検討します。
2	松原内湖の歴史を踏まえ、施設整備してほしい。	歴史的背景を踏まえた施設整備を検討します。
3	現在のスイミングセンター、テニスコートはどのように整備するのか。	プールは他所での整備を検討します。 テニスコートは公園内での整備を検討しています。
4	第1種陸上競技場、第3種陸上競技場の照明施設はどのようなものを予定しているのか。	第1種陸上競技場には日本陸上競技連盟の施設基準を満たすよう照明施設を設置します。第3種陸上競技場には防犯灯、外灯の設置を検討しています。
5	周辺環境調査の地下水調査におけるボーリング深度は15mか。周辺でボーリングを実施したところ、震度1.5m付近でガスが出たことがある。	ボーリング深度は15mを予定していますが、支持層等も考慮しながら決定します。
6	周辺環境調査の調査結果、予測、評価、環境保全措置の検討結果は公表するのか。	周辺環境調査の調査結果とともに、影響予測、評価、環境保全措置等の検討結果について公表していきたいと考えています。公表の方法は今後検討します。
7	大気調査はどのような調査か。	土グラウンドによる粉じん・砂埃の影響を調査する予定です。
8	駐車場も増えることから、交通量の増加による排気ガス等の予測・評価が必要ではないか。	排気ガス等の大気調査については今後検討します。
9	周辺環境調査で、道路の混雑状況や騒音状況についても加えるべきではないか。	混雑状況等については、来年度、交通対策にかかる調査を実施する予定です。
10	国体開催期間前後のボランティアの募集等をするべき。ごみの投棄も多く道路清掃等のボランティアを合わせて募るべきと考える。	ボランティアの活用について今後検討していきたいと考えています。
11	彦根総合運動公園となると誰もがいつでも通れるようになり、防犯対策について検討してほしい。	防犯も大事な要素であり、警察とも連携しながら今後の設計段階で検討します。
12	整備後の管理は市となるのか。県となるのか。	県営都市公園として県が管理しますが、実際的には指定管理者制度による管理を検討します。
13	船町交差点から米原方面に向かう道路には街路灯が少ないので、街路灯を増設してほしい。	県道を管理する湖東土木事務所に伝えさせていただきます。
14	船町交差点の地下道の設備について、自転車用のスロープの幅が狭く、ベビーカーの通行に支障になっている。照明器具の故障や落書き、水漏れ、手すりの汚れがひどい。気持ちよい地下道に改善してほしい。	県道を管理する湖東土木事務所に伝えさせていただきます。

質疑応答の概要

番号	意見・情報等（概要）	意見・情報等に対する考え方 （説明会での回答要旨）
1	嵩上げ事業との調整はできているのか。	土地改良区の嵩上げ委員会と相談させていただいているところです。
2	駐車台数の算定根拠は何か。	公園利用実態調査等のデータをもとに、約1000台～1100台と試算しています。
3	工事中、工事車両の通行量はどの程度か。	どのような規模の施設を造るのかを決めた後、設計段階で工事車両の通行量等を検討する予定です。
4	公園敷地の地盤高は上がるのか。公園内の排水は土地改良区域内の排水路に流さずに、港湾に流すようにしてほしい。	設計段階での検討事項のため、現時点ではわかりません。 公園内の雨水排水は土地改良区の排水路に流さないよう今後排水計画を検討します。
5	交通アクセスが良いことから主会場に選定されたと思うが、観光の要素を取り入れて施設整備をすべきと思う。	彦根市や周辺地域の観光資源との連携をしながら、人々が楽しく利用できる公園として整備していきたいと考えています。
6	高校や小学校の周りに駐車場を配置するのは、防犯上よくない。	公園内の施設配置の検討には、住民や利用者の安全確保の配慮も重要と考えています。駐車場や出入口の位置については、公園内に導入する他の施設に加え、市道の整備計画等とも整合を図りながら検討します。
7	国体開催後の施設はどのように維持していくのか。維持経費はどれくらいかかるのか。	県の施設であり、その維持管理は県が対応します。維持経費については今後の管理運営手法ともあわせて検討します。
8	国体に要する経費はどのようにして捻出するのか。市民・県民税や固定資産税が上がるのではないかと心配する。	施設は国の補助や起債などを財源として整備します。昨年度の主会場選定専門委員会において総事業費を約180億円と試算しています。なお、施設整備を理由に税金が上がることはないと考えています。
9	周辺環境調査では騒音・振動のほか、交通量調査も必要ではないか。	来年度、交通対策にかかる交通量等の調査を実施する予定です。
10	周辺環境調査のデータ収集は最初だけか。工事期間中もするのか。	今回の調査は公園整備に伴う影響の予測および環境保全措置の検討です。工事期間中については、今回の調査結果を踏まえ、調査項目や調査の手法等について検討します。
11	環境調査について、井戸の利用者も多く、今後調査も必要。地盤改良すると野菜等に付着する可能性もある。	井戸水の調査については、工事中・工事後のモニタリングのため2カ所での実施を予定しています。周辺の井戸調査については、今回の調査結果を踏まえ、工事内容等により必要に応じ検討します。

質疑応答の概要

番号	意見・情報等（概要）	意見・情報等に対する考え方 （説明会での回答要旨）
12	騒音について、苦情がでたときには、国の基準以内だから問題ないと逃げる。工事を始める前に団地内の現状を事前に計測しておくこと。	今回の周辺環境調査は今後の設計や工事に向けて、公園整備に伴う影響の予測、環境保全措置を検討するために実施するもので、住宅地付近での計測も予定しています。工事中や施設供用後の環境調査の手法についても今後検討します。
13	グリーンハイツは静かな住環境が維持されている。防犯や騒音面で今の環境を壊されたくない。	周辺環境調査で公園整備に伴う影響を予測評価したうえで、必要に応じて環境保全措置を検討することになります。
14	公園が大きくなり、人が自由に出入りできるため、公園敷地の外に防犯カメラを設置するなど防犯対策を検討してほしい。木で覆われると死角も多くなる。	防犯も大事な要素であり、彦根市や警察その他関係者等とも連携しながら今後検討します。
15	違法駐車などの問題が出たときの対応を警察と連携してしっかり対応してほしい。	警察や他の関係者等とも連携し検討していきます。
16	来客者のごみ問題も出てくる。	大会運営の計画を策定するなかで、ボランティアの活用なども含め今後検討します。
17	避難場所についてどのように考えているのか。	彦根市の地域防災計画の見直しの中で、人口や収容能力を考慮して決定されるものと認識しています。県有施設のうち避難場所として提供できる施設は提供する考えです。
18	観光や国体後の利用について、例えば、JRの野洲止めの電車を彦根まで延伸するようなことも考えるべきではないか。	長期的な視点のもと県全体の交通政策にかかわることであり、彦根市や関係機関と相談が必要であると考えます。
19	問題が生じたとき、どこが対応するかしっかり検討してほしい。	滋賀県国体準備室と彦根市国体準備担当が連携を密にして対処するよう取り組みます。
20	次の説明会はいつか。	今年度内での説明会の開催予定はありません。次回は基本計画策定に向けての説明会を開催する予定ですが、その開催時期は別途お知らせします。
21	これまでの住民説明会等における意見や回答を明らかにしてほしい。	説明会等における意見については、考え方もあわせて県ホームページに掲載するなどの方法によりできるだけお知らせするよう努めてまいります。

質疑応答の概要

彦根市に対する意見・回答

番号	意見・情報等（概要）	意見・情報等に対する考え方 （説明会での回答要旨）
1	市民体育センターの整備について、大きな駐車場のある新しい公園の近隣に計画する方が 良い。	来年度、建設場所や規模等を全市的に検討する 予定です。
2	小学生の通学と高校生の自転車通学とがかち 合うので、小学校前の道路整備には、子ども たちが安全に通行できるような道路整備をし てほしい。	県道彦根港彦根停車場線のように、自転車歩行 車道として整備し、歩道の中に誘導ライン等で 自転車と歩行者を分離する手法も含めて検討し たいと考えています。
3	大黒川沿いの道路の整備にあたって、矢倉川 沿いの道路まで取り付くよう整備してほしい。	ご要望として、担当課と協議します。
4	道路整備により農地が分断される。 農耕車両の横断等について安全を確保してい ただきたい。	今後検討してまいります。
5	道路の排水については、農業用の水路に排水し ないようにしてほしい。	現地調査の上、今後検討してまいります。

質疑応答の概要

彦根市に対する意見・回答

番号	意見・情報等（概要）	意見・情報等に対する考え方 （説明会での回答要旨）
1	市民体育センターが公園整備でなくなる。災害時の避難場所がなくなる。	市内64施設の指定避難場所のうち、国体主会場周辺地域は、他地域に比べて指定避難場所が多い状況ですが、新設される第1種陸上競技場の屋内スペースにつきましても、避難場所として利用できるよう県に要望してまいります。また、市民体育センターの新しい建設場所や規模等につきましては、来年度検討する予定ですが、その結果を含め、今後も引き続き、住民の居住状況に応じた避難場所の確保に努めてまいります。
2	現在の体育館はどのように整備するのか。	市民体育センターについては、来年度、建設場所や規模等を全市的に検討する予定です。
3	市道の拡幅整備は、歩道と車道だけではなく、自転車道も区別して整備してほしい。	県道彦根港彦根停車場線のように、自転車歩行車道として整備し、歩道の中に誘導ライン等で自転車と歩行者を分離する手法も含めて検討したいと考えています。
4	観光レクリエーションゾーンに沿った形で整備していくべきではないか。観光・レクリエーションゾーンは現在どのくらいあるのか。	現在の彦根市都市計画マスタープランでは、彦根港、金亀公園および彦根総合運動場周辺一帯を観光・レクリエーション系（ゾーン）の拠点として位置づけ、利活用を図るとしています。どこからどこまでという明確な区域設定はありませんが、今回の国体主会場となる彦根総合運動公園もそのゾーン内であり、その整備は、このマスタープランの方針に整合しているものと考えています。なお、彦根市都市計画マスタープランについては、現在改定作業中ではありますが、観光・レクリエーションなどのゾーンとしては踏襲することになると思われますので、その重要な拠点として主会場である総合運動公園を位置づけていきたいと考えています。
5	検討懇話会のメンバーとして、彦根市の地元委員が入っているが、どのような経緯で決定されたのか。	周辺地域の自治会長の互選により決定していただきました。

質疑応答の概要

彦根市に対する意見・回答

番号	意見・情報等（概要）	意見・情報等に対する考え方 （説明会での回答要旨）
1	避難場所についてどのように考えているのか。	市内64施設の指定避難場所のうち、国体主会場周辺地域におきましては、他地域に比べて指定避難場所が多い状況ですが、新設される第1種陸上競技場の屋内スペースにつきましても、避難場所として利用できるよう県に要望してまいります。 また、市民体育センターの新しい建設場所や規模等につきましては、来年度検討する予定ですが、その結果を含め、今後も引き続き、住民の居住状況に応じた避難場所の確保に努めてまいります。
2	工事が始まると工事車両が増え、周辺道路が混みあう。周辺道路の整備スケジュールはどのように考えているのか。	公園整備と併せて道路整備も進めていくこととなります。 工事中の車輛については、公園工事と調整を図ってまいります。
3	小学校前の道路の整備については、子どもたちの安全を確保するような措置をお願いしたい。	道路整備により歩道の幅を広くし、歩行者の安全を図ってまいります。
4	これまでの住民説明会等における意見をまとめて出してほしい。	説明会等でいただいた意見については、県とともにホームページへの掲載等を行います。
5	彦根市として、主会場を誘致する気持ちが強かったと思うが、彦根市が主体的となっていないように思う。県の後からついていっているという感じを受ける。国体をきっかけにして彦根市の問題点を今考え、国体後のまちづくりの青写真を持って取り組むべきと考える。	彦根市として国体と世界遺産の両輪をまちづくりに活かしていきます。スポーツを通じたまちづくりに反映できるよう、今後検討していきたいと考えています。また、総合運動公園は本市の都市計画に位置づけるものであり、現在改定中の都市計画マスタープランにも国体後の利活用を含め、まちづくりの方針として明示していきたいと考えています。
6	彦根市の都市計画道路について、都市計画審議会の前に、住環境や道路環境などへの影響も含め、住民に対しての説明はないのか。公表がないと住民の間でいろいろな憶測が飛び交う。	事前に住民説明会を実施します。